

2021 年 1 月 4 日

各位

名古屋市中区栄三丁目 33 番 13 号
株 式 会 社 中 京 銀 行

頭取の年頭訓示要旨（頭取 永井 涼）

中京銀行（頭取 永井 涼）は、2021 年 1 月 4 日（月）、頭取による年頭訓示を行いましたので、お知らせします。

その要旨は下記の通りです。なお、例年は本店 8 階ホールにて対面で訓示を行いますが、本年は新型コロナウイルス感染防止のため、本部・営業店ともに動画配信により伝達いたしました。

記

昨年は新型コロナウイルス感染症の拡大という未曾有の事態に直面し、窓口業務の維持と事業を営むお客さまの資金繰り支援に全力で努めた。その中で、私が昨年の年頭に申し上げた「お客さまにとって何が最良かを考える」「自ら考えて行動する」の 2 点を皆さんに実践していただいた結果、お客さまとのリレーションや業績面で大きな成果を得ることができた。今年も手綱を緩めることなく、昨年同様、全力で走り抜けて欲しい。

年頭に当たり、皆さんに取り組んでほしいことを 3 点申しあげる。

1. お客さまに寄り添う

コロナ禍で地域経済を担う多くのお客さまがダメージを受けた。当行は、これまでも「いちばんに相談したい銀行」を掲げ、お客さまの本業支援や課題解決に向けた活動を続けてきたが、今は更に踏み込んでお客さまに寄り添う活動が求められている。お客さまに寄り添い、地域経済を支え、これまで以上に地域での存在感を発揮してほしい。

2. 現状を打破する

昨年来、世の中の常識が大きく変わるパラダイムシフトが起きている。当行も従来の延長線上の考え方では、持続的な成長は望めない。中京銀行が新たなステージに到達し、地域のお客さまに安心して相談していただける存在になるために、皆さんには現状を打破するためのチャレンジをしてほしい。

3. 自らを律する

金融機関の役職員は、地域のインフラを支えるエッセンシャルワーカーであり、自らを律する行動が求められる。コンプライアンス意識の欠如や無自覚な行動により、当行の信用が傷つけば、当行を利用する多くのお客さまにご迷惑をおかけすることにもつながる。しっかりと自らを律する行動を行ってほしい。



以上